

特定非営利活動法人日本ガラパゴスの会 第15期通常総会

2020年9月22日（火祝） 15:00～17:30
於 中目黒アトラスタワー集会室

議事次第

1. 開会（司会：櫻 博子 ）
2. 理事長挨拶：清水善和
3. 総会成立の確認（報告：奥野玉紀）

出席者および委任状提出者の過半数をもって、総会成立した旨を報告した。

	返信あり		返信なし	計
	出席	欠席・委任状		
正会員	8	39	18	65
比率	12.3%	60.0%	27.7%	100%

4. 議長の選出：議長（理事長）清水善和
5. 議事録署名人の選出：高木 一輝、奥野 玉紀
6. 議事
 - 6.1. 第1号議案：第15期（2019年7月1日～2020年6月30日）事業報告および収支報告（奥野）
 - 6.2. 第2号議案：第16期（2020年7月1日～2021年6月30日）事業計画および収支予算（奥野）
第1号議案、第2号議案について、議場に諮ったところ、軽微な修正を行った上で、両議案共、満場一致で可決・承認された。
7. 質疑、意見等
2020年度事業について、現地の保全を支援する活動の他、ガラパゴスコーヒーを使った保全資金集めなどの事業計画、また国内での普及啓発事業の軸となるJAGAホームページのリニューアルなどについて、活発な議論や質疑応答があった。
8. 閉会

【総会特別企画】ガラパゴス写真コンテスト2020選考会

約40点の応募があり、8名の出席者が、写真のみ（撮影者無記名）の審査により、最優秀賞1点（表紙）、優秀賞12点を選出した。

第15期の事業報告は、以下のとおりである。

※「担当」は、理事/監事/ボランティアを記載した（敬称略）。

<p>(1) ガラパゴスに関連する環境教育及び普及啓発に係る事業</p>
<p>① ガラパゴス体験学習ツアーを実施：8月23日～9月1日 ビーチクリーン活動を2回（サンクリストバル島とサンタクルス島）ダーウィン研究所訪問なども行った。参加者7名。波形と奥野が同行した（東京都の視察を兼ねる）。</p> <p>② 「ガラパゴス写真コンテスト2019」開催（9月）。応募作品数約35点。ガラパゴスの高校生（15才、16才）も応募。選考は、総会特別企画として、参加者の投票にて最優秀賞1点、優秀賞12点を決定。優秀賞5点に輝いたガラパゴスの高校生が所属する写真クラブに、カレンダーの収益の一部を寄付した。</p> <p>③ 「ガラパゴスカレンダー2020」制作・頒布。写真コンテスト優秀賞作品を採用。11月下旬に500部納品、発送開始。寄附の特典として頒布260部、会員配布120部、進呈約90部（ダーウィン研究所10部、写真クラブ10部含む）。手元残約30部。担当：里見、飯崎、奥野</p> <p>④ 旅行社ワールド航空サービスにて講演：9月、10月の2回。担当：清水、飯崎</p> <p>⑤ 千寿桜小学校（10月）、元八王子東小学校（12月）、横山小学校（山形・2月）にて、奥野・里見が講演。</p> <p>⑥ 東京都とチャールズ・ダーウィン財団の連携協定締結以外でも、ガラパゴスと小笠原の連携を支援。小笠原への視察（8月）や様々な団体との連携、11月の協定締結式への調整等を行う。担当：役員全員、赤間、高木、など</p> <p>⑦ 駐日エクアドル大使より招待され、計3回大使公邸に伺い、エクアドル関係者と親交を深めた。担当：奥野</p>
<p>(2) ガラパゴスに関連する情報の収集および提供に係る事業</p>
<p>① 7月：衆議院環境委員会の国会議員（4名）視察のための事前レクチャーを行い、8月にツアーで現地滞在中、チャールズ・ダーウィン研究所および所長との会食に同行・同席した。担当：奥野</p> <p>② 7月：（株）日本総合研究所から「オーバーツーリズム」に関するヒヤリング調査を受けた。その後、同名の著書を出版するとのことで、ガラパゴスに関する部分の監修を行った。担当：真板・奥野</p> <p>③ テレビ番組の監修：日本テレビ「世界まる見え！」（10月）、テレビ朝日「ガリベンガーV」（3月）、日本テレビ「ZIP！」（4月）など。担当：奥野</p> <p>④ 8月：朝日出版社からの依頼で企画の相談を数回受け情報を提供したが、その後連絡なし。担当：里見、奥野</p> <p>⑤ 12月：「ガラパゴス植物ガイド」を1020部印刷・発行した。280部頒布済。担当：里見、清水、倉田、伊藤秀三、他。</p> <p>⑥ 前年度より引き続き、経団連自然保護協議会のガラパゴス視察に向けた情報提供を行った。10月の視察の予定は台風で1月に延期となったが、1月19日～26日で実施され、奥野と赤間（通訳）が同行した。</p> <p>⑦ 11月：日本経済新聞社の取材に協力・同行した。（新聞記事は1月26日発行）担当：波形、飯崎、奥野</p> <p>⑧ 11月：ガラパゴス社会調査@コンセホ、市役所、国立公園局、防疫検疫局、漁協、島民、チャールズ・ダーウィン財団、フレンテ・インスラル（市民団体）など。担当：海津、飯崎、奥野</p> <p>⑨ 1月～2月：大阪の国立民族学博物館にて開催された「朝枝利男の見たガラパゴス」展に際して情報提供した。博物館にも招待されたが、展示はコロナの影響で2月で終了となった。担当：伊藤秀三、奥野</p> <p>⑩ ガラパゴスコffeeについて、情報収集・提供した。担当：理事全員、高木、赤間、など</p> <p>⑪ SNSによる情報発信：Facebook、twitterによるガラパゴスに関する情報の発信。ガラパゴスに関わる機関からの発信をシェアしたり、独自記事を発行したりして、約150記事を発信した。担当：飯崎、奥野</p> <p>⑫ メールニュース（2回）、会報（12月、6月）の発行。担当：里見、飯崎、奥野</p> <p>⑬ その他、メディアや個別の問い合わせ対応、随時。</p>
<p>(3) 生態系等の環境問題全般に関する情報の収集及び提供に係る事業</p>
<p>特になし。</p>
<p>(4) ガラパゴスにおける環境保全活動の実施及び支援に係る事業</p>
<p>1) 海鳥・海洋保全活動の支援</p> <p>毎年チャールズ・ダーウィン財団がガラパゴス国立公園局と行っている海鳥3種（ペンギン、コバネウ、アホウドリ）の生態調査を支援しました。2019年度もペンギン基金より寄附があり、JAGAからの支援金と合わせて支援を送りました。</p>

た。また、海岸の清掃活動を行っているサンタクルス島の市民団体フレンテ・インスラルの活動も支援すると共に、8 月のツアーではビーチでの海洋漂着プラスチックを拾う活動を共に行いました。

2) ガラパゴスの植生保全支援

当期 JAGA が支援・実施した植生保全プロジェクトは2つあります。1つはBESS フォレストクラブからの支援を受けて行ったサンタクルス島の「スカレシアの森」の再生事業です。キク科固有種スカレシアの森林は、自生地の半分以上が農地と重なることもあり、本来の森の面積の1%にまで減少しています。チャールズ・ダーウィン財団と共に農家と協働で農地内の外来種の駆除や植林を行う事業を立ち上げ、農家の協力者を決定しました。2020 年度も継続します。もう1つの植生保全事業は、国土緑化機構「緑の募金」から助成を受けたサンクリストバル島の居住区における島民参加型の植林と環境教育・啓発事業です。元々森だった居住区の土地に在来種の森を再生させ、外来種の防除を行うと共に、学校などでも固有種や在来種の植林をして(写真)、島民に対して開けた森として、啓発や環境教育の生きた教材とする活動です。

3) チャールズ・ダーウィン研究所図書室デジタル化支援

かねてより必要性が高く支援の要請も強かったダーウィン研究所の図書室資料のデジタル化事業ですが、東京の前田建設工業株式会社の支援により、今後 5 ヶ年の継続した事業が決定しました。世界でこの研究所にしかない貴重な資料が、デジタル化されて、世界中からアクセスできるようになることを目指しています。



(保全事業の詳細や成果は、会報で報告します。)

(5) ガラパゴスに関連する国際協力に係る事業

新型コロナウイルスの感染拡大防止措置としてロックダウンされたガラパゴスでは、観光がストップして経済的に困窮する家庭が続出したことから、6 月下旬、社会的に弱い立場にある約 250 家族に食料を届けた。事業計画にはなかった支援であったが、保全当事者である島民支援ということで、理事全員の賛成を得て、またチャールズ・ダーウィン財団、および島民 NGO フレンテ・インスラルの全面協力もあって実現した。

(6) 調査研究の実施、支援、及び研究者の支援に係る事業

特になし

(7) ガラパゴスに関連する諸機関の運営又は活動に関する連絡、助言、援助に係る事業

7 月に東京都と業務委託契約を結び、東京都とチャールズ・ダーウィン財団との連携協定締結に向けて、会議や打合せ、現地との連絡と調整、都職員の方の現地視察のコーディネート・同行(8月)、協定締結式コーディネート・同行(11月)、記念品手配、報告書のまとめなど協定の締結のための一連の業務を行った。また8月には奥野が小笠原父島を訪問し、副村長や小笠原自然文化研究所代表らと面談をした。なお、新型コロナウイルスの感染拡大の影響で、2020 年度に予定されていた東京都の事業(パネル展)は中止となった。

(8) その他、本会の目的を達成する上で必要な事業

■日本エクアドル外交関係樹立 100 周年記念事業実行委員会の委員として、奥野が 2018 年～2019 年に行われた記念事業の報告書をまとめた(協力:飯崎)。在京・在エクアドルの大使館や外務省などの公的機関、エクアドル本土で活動する団体や個人、日本で活動するエクアドル関連の団体・企業・個人との繋がりができ、JAGA のガラパゴスの専門機関としての認知が進んだ。また、コロナ禍の食料支援についてもこの繋がりの中から実施することができた。

■助成金の申請:ガラパゴスと小笠原の若者交流事業を継続するため、助成金を探し、説明会などに行った。地球環境基金への申請は不採択となった。国土緑化機構「緑の募金」への2020 年度事業への申請は採択され、「スカレシアの森の再生事業」を継続して行うことになった。

■その他ファンドレイジングのための活動。

【謝意】 当期活動したボランティア:赤間亜希、高木一輝、竹ノ内理絵、飯崎晶子、他。および理事・監事全員。(敬称略・五十音順)

2019年度(第15期:2019年7月1日~2020年6月30日)活動計算書

特定非営利活動法人日本ガラパゴスの会

科目		金額(円)		
I 経常収益				
1	受取会費			
	正会員受取会費	290,000		
	その他会員受取会費:個人/団体協力会員、学生会員	421,000	711,000	
2	受取寄付金			
	寄付(コロナ禍緊急食料支援寄付含む)	646,498		
	特典寄付:サポーター、カレンダー、植物ガイド	545,951	1,192,449	
3	受取民間助成金			
	BESSフォレストクラブ支援協賛金	2,000,000		
	緑の募金助成金	1,480,000		
	前田建設工業株式会社支援金	500,000		
	帝人株式会社ボランティアサポートプログラム	100,000	4,080,000	
4	事業収益			
	普及啓発事業:講演等	49,740		
	情報提供事業:番組監修等	109,000		
	東京都とチャールズ・ダーウィン財団連携協定締結事業	3,407,800	3,566,540	
5	その他収益			
	受取利息、キャッシュバックなど	2,889	2,889	
	経常収益計	9,552,878	9,552,878	9,552,878
II 経常費用				
1	事業費			
(1)	ガラパゴスに関連する環境教育及び普及啓発に係る事業 カレンダー、植物ガイド、制作・送付等	581,931		
(2)	ガラパゴスに関連する情報の収集及び提供に係る事業 講演、ホームページ、会報、SNSによる発信と情報収集	116,775		
(3)	生態系等の環境問題全般に関する情報の収集及び提供に係る事業	0		
(4)	ガラパゴスにおける環境保全活動の実施及び支援に係る事業 1)海鳥調査・海洋保全事業 2)植生保全事業 3)ダーウィン研究所図書室デジタル化支援事業	168,390 3,771,049 550,000	4,489,439	
(5)	ガラパゴスに関連する国際協力に係る事業 島民支援:コロナ禍緊急食料支援	514,147		
(6)	ガラパゴスに関連する調査研究の実施、支援、及び研究者の支援に係る事業	0		
(7)	ガラパゴスに関連する諸機関の運営又は活動に関する連絡、助言、援助に係る事業 東京都とチャールズ・ダーウィン財団連携協定締結事業	2,554,903	8,257,195	
2	管理費			
	シェアオフィス利用費	97,900		
	事務局運営管理費	980,000		
	決済システム費	52,800		
	通信費	59,069		
	交通費	18,481		
	会議費	9,102		
	消耗品費	5,806		
	租税公課	860		
	保険料	7,850		
	事務手続き費	2,085	1,233,953	
	経常費用計	9,491,148	9,491,148	9,491,148
	当期経常増減額			61,730
	税引前当期正味財産増減額			61,730
	法人税、住民税及び事業税			70,000
	当期正味財産増減額			-8,270
	前期繰越正味財産額			3,749,471
	次期繰越正味財産額			3,741,201

1.重要な会計方針

財務諸表の作成は、NPO法人会計基準(2010年7月20日 2017年12月12日最終改正 NPO法人会計基準協議会)によっています。

(1)消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込み方式によっています。

2.事業別損益の状況

事業別損益の状況は以下の通りです。

(単位:円)

科目	(1)環境教育 普及啓発事	(2)情報提供 収集事業	(4)保全支援 事業	(5)国際協力 事業	(7)運営支援 事業	事業部門計	管理部門計	合計
I 経常収益								
1.受取会費						0	711,000	711,000
2.受取寄附金	545,951		120,000	526,498		1,192,449		1,192,449
3.受取助成金等			4,080,000			4,080,000		4,080,000
4.事業収益	49,740	109,000	400,000		2,507,800	3,066,540	500,000	3,566,540
5.その他収益						0	2,889	2,889
経常収益計	595,691	109,000	4,600,000	526,498	2,507,800	8,338,989	1,213,889	9,552,878
II 経常費用								
1.事業費								
(1)普及啓発事業	581,931					581,931		581,931
(2)情報収集提供事業		116,775				116,775		116,775
(4)保全支援事業								
海鳥海洋保全			168,390			168,390		168,390
植生保全			3,771,049			3,771,049		3,771,049
CDF図書館デジタル化			550,000			550,000		550,000
(5)国際協力事業				514,147		514,147		514,147
(6)運営支援事業					2,554,903	2,554,903		2,554,903
2.管理費						0	1,233,953	1,233,953
経常費用計	581,931	116,775	4,489,439	514,147	2,554,903	8,257,195	1,233,953	9,491,148
(事業別)当期経常増減額	13,760	-7,775	110,561	12,351	-47,103	81,794	-20,064	61,730

3. 使途が制約された寄付金等の内訳

使途が制約された寄付金等の内訳(正味財産の増減及び残高の状況)は以下の通りです。
当法人の正味財産は3,741,201円ですが、そのうち使途が制約された財産はありません。

(円)

内容	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	備考
BESSフォレストクラブ 支援協賛金	0	2000000	2000000	0	全額を、ガラパゴスの植生再生事業に使用しました。
国土緑化機構 緑の募金	0	1480000	1480000	0	全額を、ガラパゴスの植生再生事業に使用しました。
前田建設工業株式会社 支援金	0	500000	500000	0	全額を、チャールズ・ダーウィン研究所図書室デジタル化支援事業に使用しました。
東京都とチャールズ・ダー ウィン財団連携協定締結事業	0	3,407,800	3,407,800	0	全額を、東京都とチャールズ・ダーウィン財団の連携協定締結事業に使用しました。

4. 役員及びその近親者との取引内容

役員及びその近親者との取引は以下の通りです。

(単位:円)

科目	計算書類に計上された金額	うち役員および近親者との取引引き
(活動計算書)		
受取寄附金	1,192,449	417,880
運営支援事業費	2,554,903	1,863,622
運営管理費	980,000	980,000
活動計算書計	4,727,352	3,261,502
(貸借対照表)		
未払金	1,260,000	1,260,000
貸借対照表計	1,260,000	1,260,000

第15期(2019年7月1日～2020年6月30日) 特定非営利活動に係る事業 会計貸借対照表

2020年6月30日現在

特定非営利活動法人日本ガラパゴスの会

(単位:円)

科 目	金	額
I 資産の部		
1 流動資産		
現金預金	3,488,511	
未収金(緑の募金)	1,480,000	
前払金(シェアオフィス利用料)	107,690	
流動資産合計		5,076,201
2 固定資産		
土地	0	
建物	0	
車両運搬具	0	
固定資産合計		0
資 産 合 計		5,076,201
II 負債の部		
1 流動負債		
未払費用(報酬)	1,260,000	
未払法人住民税等	70,000	
前受会費	5,000	
流動負債合計		1,335,000
2 固定負債		
長期借入金	0	
退職給与引当金	0	
固定負債合計		0
負 債 合 計		1,335,000
III 正味財産の部		
前期繰越正味財産		3,749,471
当期正味財産増減額		-8,270
正味財産合計		3,741,201
負債及び正味財産合計		5,076,201

第15期(2019年7月1日～2020年6月30日) 特定非営利活動に係る事業 会計財産目録

2020年6月30日現在

特定非営利活動法人日本ガラパゴスの会

(単位:円)

科 目	金	額
I 資産の部		
1 流動資産		
現金預金		
現金	3,456	
普通預金 みずほ銀行青山支店	551,154	
普通預金 三井住友銀行渋谷駅前支店	2,387,039	
郵便振替口座 ゆうちよ銀行	311,410	
ジャパンネット銀行	235,452	
未収金(緑の募金)	1,480,000	
前払金(シェアオフィス利用料)	107,690	
流動資産合計		5,076,201
2 固定資産		
土地 所在 m ²	0	
建物 所在 m ²	0	
車両運搬具 乗用車 台	0	
固定資産合計		0
資産合計		5,076,201
II 負債の部		
1 流動負債		
未払費用(報酬)	1,260,000	
未払法人住民税等	70,000	
前受会費	5,000	
流動負債合計		1,335,000
2 固定負債		
長期借入金	0	
退職給与引当金	0	
固定負債合計		0
負債合計		1,335,000
正味財産		3,741,201

第16期（2020年7月1日～2021年6月30日）事業計画

第16期（2020年7月1日～2021年6月30日）の事業方針及び事業計画は、以下のとおりである。

(1) 環境教育・普及啓発事業

日本とガラパゴスを繋げる様々な活動により、引き続き関係する団体や個人との繋がりを深化させたり、構築したりして、保全事業へと繋げる。そしてガラパゴスやその保全、そしてJAGAの活動についてより多くの方に知ってもらえるような事業を積極的に行う。

これと関連して、自然管理や観光管理について、ガラパゴスの事例を紹介することで日本の自然保護や世界自然遺産地域の管理に資する情報を提供する。保全への関心や理解が深まることも期待する。

- * ガラパゴスと小笠原の人的交流、情報交換を行う。小笠原に関する公的機関（国・都・村）などとの連携を更に密にし、継続した関係構築に努める。東京都事業とも連携して行う。
- * ガラパゴスに関連する企業等との連携を深め、双方に利益をもたらす活動を推し進める。
- * 時期を見て、「体験学習ツアー」を企画する。
- * 「ガラパゴス写真コンテスト2020」開催、および「ガラパゴスカレンダー2021」制作、発行。ファンドレイジング／普及ツールとしても活用する。
- * 2019年に初めて日本に輸入された原産地認証付きガラパゴスコーヒーに関して、コーヒー生産地と重なるスカレシアの森の保全を促進する事業を、日本とガラパゴスで実施する。
- * その他、教育機関等での講演、講師の派遣、出版物への原稿執筆や翻訳、監修など随時対応。

(2) 情報収集提供事業

ガラパゴスに関する正しい情報を的確に提供する。

- * JAGA ホームページのリニューアルを行い、ガラパゴスの情報を積極的に発信する。
ガラパゴスの自然管理、農業、および観光管理などに関するウェブページも作成すると共に、寄付や会員を増やすためのシステムを導入して、ファンドレイジングを促進する。
- * 「ガラパゴスのふしぎ」（ソフトバンククリエイティブ社2010年）の一部ウェブ公開。
- * メルマガ、ホームページ・SNSを活用した情報発信に力を入れる。
- * 会報発行を継続する。（年2号）
- * 教育・科学機関、科学番組への協力・監修、マスコミ対応、情報・写真提供など、随時。

(3) 環境問題全般情報収集提供事業

近年関心の高まる海洋廃プラ、地球温暖化、リサイクル、SDGs などについて、情報収集・提供する。

(4) ガラパゴスの環境保全活動の支援

前年度に引き続き海鳥海洋保全支援、スカレシアの森再生事業支援、環境教育や人材育成のための活動支援の他、農業など自給自足促進、島民団体の活動支援などの事業を行う。

経常的な支援に加え、現地のニーズについて随時連絡を取り、必要なところに必要な支援を行う。

(5) 国際協力事業

サンタクルス島のゴミ問題の解決に向け、調査を行い、JICA や外務省との連絡・連携を強める。

(6) 調査研究支援事業

下記(7)と関連して、イベント実施後に、研究者や関係者同士が継続して情報交換できる仕組みを作る。

(7) 現地諸機関の運営支援事業

東京都事業として、小笠原の世界遺産登録10周年の記念イベントを実施する。

(8) その他、本会の目的を達成する上で必要な事業

- ・企業や公的機関との関係を強化し、支援の働きかけを行う。
- ・コロナにより変化したガラパゴスの社会や向かう先について、情報収集を行う。
- ・NPOを対象にした企業のサービスを活用する。

2020年度 活動予算書

第16期(2020年7月1日から2021年6月30日まで)

特定非営利活動法人日本ガラパゴスの会

科目		金額(円)	
I 経常収益			
1 受取会費			
受取り会費	800,000	800,000	
2 受取寄付金			
一般寄付金	1,000,000		
特典寄付金	500,000	1,500,000	
3 受取民間助成金			
BESSフォレストクラブ	1,000,000		
緑の募金(決定)	1,467,000		
トヨタ環境活動助成※申請済、未採択	7,000,000		
その他企業助成金、補助金など	1,000,000	10,467,000	
4 事業収益			
普及啓発事業	1,000,000		
情報提供事業	200,000		
国際協力事業	500,000		
運営支援事業	500,000	2,200,000	
5 その他収益			
受取利息など	3,000	3,000	
経常収益計		14,970,000	14,970,000
II 経常費用			
1 事業費			
(1) ガラパゴスに関連する環境教育及び普及啓発に係る事業 カレンダー事業、コーヒー事業	1,500,000		
(2) ガラパゴスに関連する情報の収集及び提供に係る事業 ホームページ刷新など	1,000,000		
(3) 生態系等の環境問題全般に関する情報の収集及び提供に係る事業	0		
(4) ガラパゴスにおける環境保全活動の実施及び支援に係る事業			
1)海鳥調査・海洋保全事業	1,500,000		
2)スカレシアの森保全事業	5,000,000		
3)ダーウィン研究所図書室デジタル化支援事業	600,000		
4)ダーウィン研究所運営支援	1,000,000		
	8,100,000		
(5) ガラパゴスに関連する国際協力に係る事業 コロナ禍緊急支援(食料・教育)	1,000,000		
(6) ガラパゴスに関連する調査研究の実施、支援、及び研究者の支援に係る事業 小笠原世界遺産登録10周年関連事業	1,000,000		
(7) ガラパゴスに関連する諸機関の運営又は活動に関する連絡、助言、援助に係る事業 東京都とチャールズ・ダーウィン財団連携協定関連事業	500,000	12,100,000	
2 管理費			
シェアオフィス利用費	100,000		
事務局運営管理費	2,000,000		
決済システム費	100,000		
通信費	100,000		
交通費	100,000		
会議費	50,000		
その他管理費	350,000	2,800,000	
経常費用計			14,900,000
当期経常増減額			70,000
税引前当期正味財産増減額			70,000
法人税、住民税及び事業税			70,000
当期正味財産増減額			0
前期繰越正味財産額			3,741,201
次期繰越正味財産額			3,741,201